

岡崎歯科医師会とせいりけんのコラボでおおくりする「からだの不思議講座」

脳のうと口くちの不思議な関係

「歯をみがかないとむし歯になっちゃう!」そうとは聞かされているけれど、皆さん、むし歯についてどれだけ良く知っていますか?
今回の市民講座では、岡崎歯科医師会の歯科医師とせいりけんの研究者が
タッグを組んで、むし歯や歯周病の不思議と、脳と口の関係にせまります!

入場無料
先着200名様

なぜむし歯になるの?

どうしてむし歯は痛いのか?

むし歯は治らないのか?

歯周病はどうしてなるの?

口を動かす脳の働きは?



わかりやすくして
楽しい講座だよ!

【講師】



岡崎歯科医師会 歯科医師
和田 昭 氏



自然科学研究機構 生理学研究所
畑中 伸彦 助教



岡崎歯科医師会
イメージキャラクター
ブランクセント

2011年
3月12日 土
午後1時30分～3時

場所 岡崎げんき館 3階講堂
〒444-8545 岡崎市若宮町2丁目1番地1

定員 200人【入場自由・当日先着順】

●当日、会場に直接おこしください。定員を超えた場合は、入場をお断りすることがあります。
また、小学生までのお子さんは、保護者のかたと一緒にお越しください。

お問い合わせ先 岡崎市保健所総務課企画班 (岡崎げんき館2階) TEL0564-23-6807
主催:自然科学研究機構 生理学研究所 (せいりけん)、岡崎市保健所

ごあいさつ

岡崎歯科医師会 会長
あさ い あきら
浅井 章氏



わたし おかざき し か い し かい いっしゅうじょう ぶん
私たち岡崎歯科医師会は、一生自分の歯で美味しく食べよう、80歳で20本の歯を保とうといった「8020運動」を推進しています。高齢者になっても美味しく食事とり、楽しく会話をしてコミュニケーションをするといった、口腔本来の機能を維持することは、「生きる力」となり健康長寿を達成するキーポイントです。近年、口腔の健康と全身の健康の関係について解明されてきました。また、咬むことにより脳が活性化されるといった生理研での研究成果がテレビで紹介され、注目されています。今後、私たちが日常の臨床の中で疑問に思うこと等を、生理研の研究者の皆様と意見交換することで、新たなヒントと健康増進に役立つ研究成果が上がることを期待しています。

は たいせつ
歯を大切に
しようね!



会場のご案内

岡崎げんき館 〒444-8545 岡崎市若宮町2丁目1番地1
OKAZAKI GENKIKAN



アクセス	まちバスをご利用のかた 東西ルートの「まちバス」が30分間隔で運行します。 (中岡崎 — 市役所 — 岡崎げんき館) ※バス停は岡崎げんき館の敷地内にあります。ぜひご利用ください。
アクセス	名鉄バスをご利用のかた 東岡崎駅北口バスターミナルより乗車し、 「岡崎げんき館前」バス停下車。
アクセス	自動車をご利用のかた 駐車場(220台)の入口が敷地南側にあります。



みな た もの なに す くち
皆さんは食べ物は何が好きですか?お口の中が、特に歯が健康でなければ、好きなものもおいしく食べられません。

くち けんこう ぜんしん けんこう
お口の健康は全身の健康につながるのです。そこで今回はむし歯や歯周病について知ってもらおうと思います。

なぜむし歯や歯周病になるのかを知らば、効果的な予防をする事が出来ません。むし歯になるとなぜ痛くなるのか、むし歯が自然に治ることがあるのかについてもお話しますので、歯とお口の健康に関する理解を深めていただきたいと思います。

講師



岡崎歯科医師会 歯科医師
わだ あきら
和田 昭氏



たとえば、目をつぶっておにぎりを食べようとします。おにぎりが見えていなくても、おにぎりを持つ手の動きのタイミングに合わせて、しかも手に持ったおにぎりの大きさに合わせて口を開くことができますね。こういった情報の処理は脳の中の脳や小脳でやり取りされ、脳幹という部分に情報が送られることで、口を開いておにぎりを食べることができます。

また、毛髪一本でも分別できる鋭敏な口の中の感覚情報も脳幹に集まります。これらの情報が合わさり、細かく調節することで、わたしたちは意識しなくてもおにぎりが食べられるわけです。むし歯や歯周病の話とともに、脳の調節する口の運動のお話をします。

講師



自然科学研究機構生理学研究所
はた なかのぶひこ
畑中 伸彦 助教

